

新潟市西区認知症医療連携会

医療法人水明会佐潟荘 医局

3月9日、新潟市西区認知症医療連携会（場所：ホテルオークラ新潟、主催：武田薬品工業株式会社）に、新潟市西区の認知症診療とケアを担う大勢の皆さんとともに当院の北村医師が参加しました。講演1は、新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学分野助教の春日健作先生による「もう迷わない、抗認知症薬の使い分け」でした。患者の活動性の弱・強と周囲の介護力の無・有の2軸で、ドネペジル、メマンチン、リバスチグミン、ガランタミンの適用を整理する試みは、我々の臨床経験とよく符合してたいへん分かりやすかったです。講演2は、神戸大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション科学領域教授の古和久朋先生による「認知症にならない、なっても困らない社会を目指して～神戸市での取り組み～」でした。医療産業の醸成を含む神戸市の先進的な試みに圧倒されるばかりでしたが、そこには携わる人々の高い志があるのでしょうか。大変参考になりました。